

平成28年度
専門学校久留米リハビリテーション学院
学校関係者評価結果報告書

平成29年6月14日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
準拠

〈学校評価〉設定評価項目

基準 1 教育理念・目的・育成人材像		5-6-26	学生の生活環境への支援は行われているか
1-1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5-7-27	保護者と適切に連携しているか
1-2-2	学校の特色はなにか	5-8-28	卒業生への支援体制はあるか
1-3-3	学校の将来構想を抱いているか	基準 6 教育環境	
基準 2 学校運営		6-1-29	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
2-1-4	運営方針は定められているか	6-2-30	学校施設・備品等が定期的に管理・点検がされているか
2-2-5	事業計画は定められているか	6-3-31	学内外の実習施設について、十分な教育体制が整備されているか
2-3-6	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	6-4-32	防災に対する体制は整備されているか
2-4-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	基準 7 学生の受け入れ募集	
2-5-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	7-1-33	学生募集活動は適切に行われているか
基準 3 教育活動		7-2-34	高等学校等に対する情報提供は適切に行われているか
3-1-9	教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らして、また教育期間を勘案して、到達することは可能なレベルとして、明確に定められているか	7-3-35	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか
3-2-10	カリキュラムは体系的に編成されているか	7-4-36	学生募集活動において、教育成果は適切に伝えられているか
3-3-11	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	7-5-37	学納金は妥当なものになっているか
3-4-12	授業評価の実施・評価体制はあるか	7-6-38	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
3-5-13	育成目標に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員確保をしているか	基準 8 財務	
3-6-14	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	8-1-39	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
3-7-15	資格取得の指導体制はあるか	8-2-40	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
3-8-16	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	8-3-41	財務について会計監査が適正に行われているか
基準 4 学修成果		8-4-42	財務情報公開の体制整備はできているか
基準 5 学生支援		基準 9 法令等の遵守	
4-1-17	就職率の向上が図られているか	9-1-43	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
4-2-18	資格取得率の向上が図られているか	9-2-44	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか
4-3-19	退学率の低減が図られているか	9-3-45	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
4-4-20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	9-4-46	自己評価結果を公開しているか
基準 6 教育環境		基準 10 社会貢献・地域貢献	
5-1-21	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	10-1-47	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
5-2-22	学生相談に関する体制は整備されているか	10-2-48	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
5-3-23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	基準 11 国際交流	
5-4-24	学生の健康管理を担う体制はあるか	11-1-49	留学生の受け入れ・在籍管理において適切な手続等が取られているか
5-5-25	課外活動に対する支援体制は整備されているか	11-2-50	留学生の学修・生活活動指導について学内に適切な体制が整備されているか

評価 : 4.適切 3.ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
1-1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学則第1章組織の(目的)第1条に定めている。また、ホームページに掲載している学校基本情報内で、教育理念や育成人材像を明記している。
1-2-2	学校の特色はなにか	④ 3 2 2	④ 3 2 2	ホームページに4つの強みとして掲載 1. 医療法人立の専門学校 2. 少人数・2学科・4年制の効果的な学科構成 3. 緑豊かな良好な教育環境 4. e-schoolによる効率的な学習環境
1-3-3	学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 3	4 ③ 2 3	活動理念として、本学院が選ばれる理由を追求し、入学生に誠実な医療人への基礎力と国家試験合格の確かな学力を習得させ、理学療法士・作業療法士へと育成し、専門教育をととした医療貢献を行うことを教職員規範と目指している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

・ホームページに学校基本情報を掲載し、目的の中で教育理念や育成人材像を明記した。
--

学校関係者評価コメント

特に問題なし

基準 2 学校運営

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
2-1-4	運営方針は定められているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	ホームページに教育ポリシー掲載 1. 医療法人立の強みを生かした「高い専門性」 2. 医療人にふさわしい人格形成を目指した「広い社会性」 3. 社会から求められる医療人の輩出
2-2-5	事業計画は定められているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	毎年活動方針等について全教職員に資料配布、説明会を実施している。
2-3-6	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	運営規程を定め、学科会議、教員会議、運営会議等を定期的実施し、意思決定体制を構築している。 組織図にも示している。
2-4-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	就業規則の中に人事に関する事項を定め、別に給与規程も定めている。
2-5-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	イントラネットの整備により業務の効率化・共有化ができています。 28年度には新システムを導入し、さらなる効率化ができています。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

- ・教務部システムと事務部システムの融合がなされていない。
- ・システムの融合に向けて検討する。

学校関係者評価コメント

特に問題なし

基準 3 教育活動

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
3-1-9	教育目標、育人人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らして、また教育期間を勘案して、到達することは可能なレベルとして、明確に定められているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	知識・技術に関する教育目標は、国家試験合格基準を基本レベルとして設定している。また業界のニーズに対応できる社会性もテーマに毎年各学年目標を明確に定めている。
3-2-10	カリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」や、「理学療法士作業療法士養成施設指導要領」に基づき編成されている。
3-3-11	各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	基礎科目の関連項目に横軸を通し系統学の科目として、独自の新たなカリキュラムをH25年度新入生より導入している。
3-4-12	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学生による授業評価をH18年より実施し、ホームページで公表している。H23年に評価項目を見直し前期後期と半期ごとに実施し、授業内容の改善や学生の学習意欲の向上に努めている。
3-5-13	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員確保をしているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	全ての教員が要件を備えており、業界ニーズに沿ったスキルの向上を図っている。
3-6-14	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	定期試験に関する規定を作成し明確にしている。また、規定は学生便覧にも明記している。
3-7-15	資格取得の指導体制はあるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	国家試験対策委員会を設置し、適切な指導体制がとれている。
3-8-16	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	ニーズを踏まえた研修を実施している。平成28年度に教員研修規定を見直した。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

- ・目標等の周知を強化し、教職員の目標意識の統一を図る。
- ・すでに10年に渡る学生による前後期の半期ごとの授業評価を実施しているが、今後もさらに取り組みを充実させ、結果を教員の人事考課に反映させていく。
- ・授業評価について、専門学校は実施の義務はないが、学生には無記名でアンケートを実施し、毎年評価は上がってきている。

学校関係者評価コメント

・コミュニケーション能力等の基礎的なところや、基本的なことを学校で教育してほしい。

基準 4 学修成果

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
4-1-17	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	実習就職指導委員会を設置し対応している。また、外部講師による接遇向上セミナーや、就職面接試験対策など独自に取り組んでいる。
4-2-18	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	国家試験対策委員会を中心に担任と連携を取り、年間スケジュールに基づいた緻密な計画の元取り組んでいる。
4-3-19	退学率・留年率の低減が図られているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	早期対応として学生や保護者との面談を行い、問題解決に向け対応している。退学率・留年率ともに、毎年低下傾向にある。
4-4-20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	卒業生の活躍を定期的にインタビューし、校内掲示や記事にしてパンフレットやHPで掲載・公表している。また、同窓会を中心に情報交換がなされており、卒業生の学会発表の情報も取り寄せている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

・同窓会のさらなる活性化により、社会的に活躍及び評価されている卒業生の動向を把握していく。

学校関係者評価コメント

・同窓会がスムーズに運営できるように、学院も介入して指揮をとってほしい。

基準 5 学生支援

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
5-1-21	進路就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	卒業予定者に対し、全国から企業に来校して頂き就職説明会を実施している。また、図書室に求人情報のコーナーを設けている。
5-2-22	学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	各クラスは担任・副担任制をとっており細やかなサポートができている。保護者を交えた相互体制が確立されている。
5-3-23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学費納入に関して他校にはない学費分割納入制度を導入している。その他、学院オリジナル特別奨学金制度を設けている。

5-4-24	学生の健康管理を担う体制はあるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	学校保健法6条に基づき、定期的に健康診断を実施し診断結果の配布・管理を行っている。
5-5-25	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	サークル活動や福祉施設へのボランティア活動、自治会活動などに教員も参加し、外部との連携を取っている。
5-6-26	学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	学生寮やスクールバスの運行など行っている。 また、学生料理用の希望者には宅食をつけて食生活等を支援している。
5-7-27	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	保護者説明会や授業参観、実習説明会、国試説明会などを実施し頻繁に保護者が来校する機会があり、適切な連携が取れている。
5-8-28	卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1	4 3 ② 1	就職情報閲覧や教員の対応、同窓会組織があるが、確立した支援体制は十分とはいえない。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

- ・卒業生への支援体制の見直し。
- ・卒業生の転職状況の把握について十分とはいえない。
- ・同窓会の情報を活かし、卒業生の動向について把握していく。

学校関係者評価コメント

- ・卒業生への支援体制のひとつとして、学院ホームページでCCSについての情報が活用できてよい。

基準 6 教育環境

	評価項目	学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
6-1-29	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できる様に整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	「理学療法士作業療法士学養成施設指導要領について」に従い適切に整備している。
6-2-30	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	備品管理台帳で管理しているが、定期的な管理・点検については今後充実させていく。
6-3-31	学内外の実習施設について、十分な教育体制が整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	医療法人立学校であり法人内施設で低学年より体験実習を実施している。また「理学療法士作業療法士学養成施設指導要領について」に従い適切な実習施設を確保し実習指導者とも連携をとっている。
6-4-32	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	防災訓練の実施、防災設備の点検等、体制は整備されている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

- ・備品管理台帳の整備の強化。
- ・3年生で臨床実習Ⅰが3週間、4年生で臨床実習Ⅱが9週間で2回の18週間実施。
- ・1年生の体験学習や2年生の介護実習については、法人内施設の姫野病院や介護老人保健施設舞風台で実施している。

学校関係者評価コメント

・学内外の実習施設については、低学年のうちに体験していた方が学習時にイメージしやすいし、実習でも施設に対しての抵抗が少ないので積極的に実施してほしい。

基準 7 学生の受け入れ募集

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
7-1-33	学生募集活動は適切に行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	広報・周知に関しては、各種媒体、ホームページの活用、ガイダンス、オープンキャンパス等を実施し、教育内容等を正しく知ってもらうよう努めている。
7-2-34	高等学校等に対する情報提供は適切に行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	高校訪問では学校パンフレットや募集要項を用いて適切に行っている。
7-3-35	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページや学校パンフレットへ掲載するなど積極的に行っている。又、新しい情報の更新を適時行っている。
7-4-36	学生募集活動において教育成果は適切に伝えられているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページや学校パンフレットに最新の国家試験合格率、就職内定率を掲載し正確な情報を伝えている。また、オープンキャンパスで保護者向け説明会を実施し、適切に伝えている。
7-5-37	学納金は妥当なものになっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	福岡県内においても平均的な額であり、かつ学費分割プランにより支払い方法に工夫をしている。
7-6-38	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	選考方法は募集要項に記載している。選考については入試行事委員会により面接・小論文・学科試験の結果を数値化・点数化し公平な可否判断を行っている。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

社会人の募集活動をさらに積極的に展開していきたい。

学校関係者評価コメント

・社会人に魅力があるような情報をホームページやパンフレットでアピールしたほうがいいのでは。

基準 8 財務

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
8-1-39	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	計上黒字を維持しており財務基盤は安定している。
8-2-40	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	予算作成に際して理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。
8-3-41	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	適時、公認会計士による監査を実施している。
8-4-42	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページにて公開している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者評価コメント

特に問題なし

基準 9 法令等の遵守

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
9-1-43	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	教育基本法、学校教育法、理学療法士および作業療法士法、養成施設指定規則など遵守している。法令の遵守について学則へも掲載している。
9-2-44	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	就業規則第3章服務規律に機密情報漏洩の防止について明記している。また、臨地実習において、実習施設に関する個人情報保護の誓約書を用意している。
9-3-45	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1	4 ③ 2 1	毎年実施している。
9-4-46	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	④ 3 2 1	ホームページで公開している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者評価コメント

特に問題なし

基準 10 社会貢献・地域貢献

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
10-1-47	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 (3) 2 1	4 (3) 2 1	学校施設を専門分野の外部の研修会や講習会等の会場として利用している。
10-2-48	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	(4) 3 2 1	(4) 3 2 1	近隣施設や地域の活動団体と連携をとり、依頼の学生への伝達や引率など、奨励・支援している。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

- ・学校施設や教育資源の外部への開放・活用については使用に関して限度がある。
- ・他の方法も含めて機会を検討していく。

学校関係者評価コメント

特に問題なし

基準 11 国際交流

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価	特記事項
11-1-49	留学生の受け入れ・在籍管理において適切な手続き等が取られているか	4 (3) 2 1	4 (3) 2 1	過去、卒業生に留学生がおり適切に行われた。
11-2-50	留学生の学修・生活活動指導について学内に適切な体制が整備されているか	4 (3) 2 1	4 (3) 2 1	適切に整備されており、過去、留学生が国家試験受験、資格取得を通して卒業した。またWFOT認可校である。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

課題・改善方策等

特に問題なし

学校関係者評価コメント

特に問題なし